

明石

■明石総局

〒673-0882
 明石市相生町2-10-24
 TEL:078-912-4343
 FAX:078-913-2833
 e-mail:akashi@kobe-np.co.jp

■本社社会部

〒650-8571
 神戸市中央区東川崎町1-5
 TEL:078-362-7040
 FAX:078-360-5501
 e-mail:shakaibu@kobe-np.co.jp

火事や交通事故など
 ニュースの速報、写真
 提供、身近な話題、生
 活情報を各部、支社、
 総局、支局へ気軽にこ
 連絡ください。

【読者センター】
 TEL:078-362-7056

明石銘菓

子十せん 人丸

明石 銀座(魚の欄東入口)
 ☎0120-820-201

高小商業 業一 石ポ 明ス

必要性、時期で異論

市会常任委 意見集約は見送り

明石市会文教厚生常任委員会が十九日開かれ、市が二〇一〇年度の開設を計画する市立明石商業高校のスポーツ科について、各党派が意見を表明

した。同科の必要性や開設時期などについて意見が分かれたため、委員会としての意見集約は次回に見送られた。同校スポーツ科の開設

をめぐることは、昨年の三月市会で関連予算が修正削除され、市は本年度、あらためて一〇年春の開設を目指し、同科の力りキリムや第二グラウン

ド整備の方針などを同委員会に示していた。委員会で、同科の設置と第二グラウンド整備の二点で、委員が所属会派の考えを説明。今後、各高校に求められる独自性や専門性の観点から賛成する会派の一方で、「二年前から始まった」スポーツ科学類型の検証

がまず必要」「開設時期を一年遅らせ、さらに検討すべき」とする慎重な意見のほか、開設そのものに対する反対意見も出た。同委員会は第二グラウンドの整備も含め、二十七日にも審議を行い、委員会としての態度を決める方針。(水田憲亮)



感謝状を受け取る後藤和弘自治会長(左)とボランティアら＝川崎町

ごみ分別で優良団体に

川崎町の感謝状と助成受ける自治会

川崎町のマンションフアミールハイム明石の自治会(後藤和弘会長が十九日、スチール缶リサイクル協会(東京)から資源ごみの集団分別回収の優良団体に選ばれ、活動助成金として二万五千円分のクオカードを贈られた。

同自治会は二〇〇三年からスチール缶の回収を始め、〇七年は市内の団

体で二番目に多い千四百八十二名を回収。公募で二十人が、午前六時半から

12校園の23学級が閉鎖

インフルエンザ市内の小中学校園

20日 野々池中1年2組、3組

20-21日 沢池幼稚園

学級閉鎖を決めたクラスと期間は次の通り。

後藤会長は「助成金は、缶をつぶす機械など、回収作業に役立つ製品の購入費用にする予定。今後さらに分別の精度を上げられるよう、仲間同士で協力し合って取り組みたい」と話していた。(大月美佳)

ら、集まったスチール缶、アルミ缶、瓶、ペットボトルなどの分別を手伝っている。また、夏休みなどは子どもも分別作業に加わっている。

この日は、後藤会長に同協会関係者がクオカードと感謝状を贈呈した。